

## ゲボ風邪は焦り厳禁

2004.12.02

函館市内近郊は11月から嘔吐と下痢をする風邪が流行中です。私は「ゲボ風邪」と言っていますが…。インフルエンザはちらほら報告がありますが、まだ本格的な流行にはなっていないようです。毎日、50名ほどのインフルエンザワクチンと格闘していますが、それももう終盤戦。本格的なインフルエンザの流行の前に、暫しの休息が出来ればと思うのですが、だめかもしれません。

「ゲボ風邪」って、診るほうも心配です。吐いている、下痢をしていると症状が同じでも、原因が違うことはよくあります。多くはウイルス性の胃腸炎ですが、便秘で吐くこともあるので、病院にかかるときには、ウンチの状態もぜひ教えてください。「ゲボ風邪」って、普段元気な子どもも顔が真っ青いになってグッタリしてやってきます。脱水になっていないか、薬だけで何とかいけそうか？それとも点滴をしてあげた方がいいか。症状を訴えない子どもだけに、何とか状態をつかんでと思うのですが、みたと違って一回の点滴だけではなかなか治りきらないと入院させようかどうしようかと悩んでしまいます。

早く治って欲しい、治してあげたいというのは親も医者も共通の願いですが、「ゲボ風邪」ではあせりは禁物です。食べなければ治りが悪いのでは？と思われる方も多いでしょうが、お水を少しずつ飲ませて、オシッコを出さないと快方にはむかって行きません。飲ませるものはイオン飲料でなくても水で充分ですが、少しの塩分と糖分が入っているとより効果的です。まず、お水を飲ませて嘔吐がないことを確認して、それから徐々に食事を始めてください。食べさせるものは、おかゆやよく煮たうどんなどがいいでしょう。私はよく「桃缶」を勧めています。つるつとした喉ごしと、糖分の多い汁は回復を早めてくれるものと信じています。

今月は子どもにとっての楽しみが一杯ありますね。元気ですごせるように、また来年もことも達が元気で過ごせるようになれるといいですね。